

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会 第1回区民活動部会結果

第1回区民活動部会では、部会長及び副部会長を選出し、今後この部会で取り組む事柄について確認しました。また、平成20年度の取り組みについて検討を行いました。

1. 部会で取り組む事柄について

次に掲げる区民の取り組みについて検討を行います

区民団体が行うごみ減量に対する取り組み

区民団体が主体的に行っているごみ減量に対する取り組みの検討や新たな取り組みの提案などを行います。

ごみ減量の取り組み拡大のための普及啓発活動

ごみ減量推進のための普及啓発活動の内容検討、提案を行います。

地域における「ごみ減量リーダー」的人材の育成

ごみの減量を全区的に進めるため、地域にごみ減量のリーダー的な人材を育成を図ります。
(勉強会の開催の企画・運営等)

2. 検討結果(区民団体が行うごみ減量に対する取組みについて)

現在の取組内容を引き続き実施していくとしました。

また、区民に対する普及啓発活動として、葛飾区自治町会連合会を通じて回覧板によるごみの減量やリサイクルの推進を呼びかけを行うこととしました。

そして、現在の現在の資源回収量・ごみ量の資料提供を受け、今後は部会で取組内容についても検証を進めて、新しい取組内容の検討も行っていくこととしました。

各団体の主な取り組み

団体名	現在の取組内容
葛飾区自治町会連合会 葛飾清掃協力会 葛飾東清掃協力会	水切りの徹底による生ごみの減量
葛飾区消費者団体連合会	古紙の再利用促進 マイバッグの利用促進
集団回収団体	自主的な資源回収行動の更なる推進

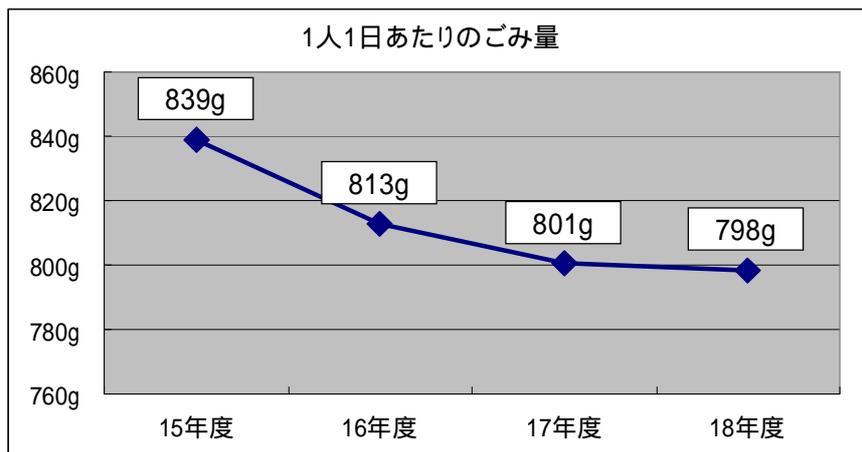
新たな取組みについて

新たな取り組みとして、ばら売りなどの買物時の消費者マナーの啓発や、容器包装（食品トレイ等）が不要な商品のリストアップについて新たな取り組みとして今後内容を検討していくことを確認いたしました。

葛飾区の資源回収量・ごみ量の推移

（葛飾区の人口は毎年10月1日現在）

	15年度	16年度	17年度	18年度
ごみ量	133,124t	129,453t	128,297t	128,449t
1人1日あたりごみ量	839g	813g	801g	798g
資源回収量	20,983t	22,959t	23,703t	25,607t
ごみ量と資源回収量	154,107t	152,412t	152,000t	154,056t



ごみ量は着実に減少しており、ごみの減量やリサイクルの推進が浸透しています。

家庭ごみ（資源も含む）の中での厨芥（生ごみ）排出量

	平成13年度	平成16年度
厨芥（生ごみ）排出量	42,587 t/年	36,566 t/年
1人1日あたり量	270.60 g/人日	229.60 g/人日

（葛飾区一般廃棄物処理基本計画見直しに係る基礎資料業務委託平成16年度報告書より）

平成13年度は家庭ごみのうち38.61%が厨芥（生ごみ）でしたが、平成16年度は35.82%と2.79%減少しています。組成自体の減少は、リデュースの意識の浸透と共に、水切りによる効果が上がっているものと思われます。

家庭ごみ（資源も含む）の中のレジ袋排出量

	平成13年度	平成16年度
レジ袋排出量	539 t/年	914 t/年
1人1日あたり量	3.40 g/人日	5.80 g/人日

（葛飾区一般廃棄物処理基本計画見直しに係る基礎資料業務委託平成16年度報告書より）

平成13年度に比べて平成16年度は排出量が増加してしまっています。

ごみ減量キャンペーンアンケート（抜粋）

問2 あなたは、ごみを減らすために日頃から何か取り組んでいますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

マイバッグを使ってレジ袋は断る



アンケート結果から見ると削減の意識は増加しています。意識はあるものの、なかなか利用が減らせない現状がうかがえます。